

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	遠山金四郎	尾花屋小三郎・ 祐天小僧小吉	清元延若・ 若紫・おわか	おもと	生田角太夫・ 按摩電庵	佐島天学	須崎政五郎	蓑浦甚兵衛	若鷺の目吉	番頭清六	山番勝五郎	不動明王	備考	典拠
1893	明治26	明治座	11/1~	とほやまざくらてんぼうにつ き 遠山桜天保日記 花川戸稽古所・隅田川三 囲堤・河原崎座中幕・囃子部 屋・愛宕下遠山邸・成田山 断食堂・山内護摩木山・花 川戸須之崎内・山之宿尾花 屋・電庵自身番調・北町奉 行白洲・新潟駅行形亭	《2》市川左 団次	《5》市川小 団次	《4》中村福 助	市川升若	《2》市川左 団次	市川権十郎	《1》市川 猿之助	《2》市川 小半次	《5》市川 寿美蔵	《1》市川 荒次郎	市川左文次	《9》市川 団十郎		辻番付・ 絵本役割
1896	明治29	大阪 浪花座	4/2~	遠山桜天保日記 花川戸稽古所・隅田川三 囲堤・河原崎座楽家・愛宕 下遠山屋敷・成田山断食 堂・山内護摩木山・花川戸 須之崎内・山の宿尾花屋・ 牛込自身番調・北町奉行 白洲・新潟駅行形亭	《2》市川左 団次	《3》市川米 蔵	市川莚女	市川升若	《2》市川左 団次	尾上多見之 助	尾上菊四郎	《1》市川 莚蔵	《1》市川 小米	《1》市川 荒次郎	《2》市川 小半次	《2》市川 左団次		『近代歌 舞伎年 表・大阪 篇』
1898	明治31	開盛座	3/23~	〔遠山桜天保日記〕	坂東飛鶴	中村鶴若	市川専女	市川照世	坂東飛鶴	中村梅雀	岩井咲松	薪左衛門	薪左衛門	種十郎	種十郎			『配役総 覧 第六 版・第七 版』
1899	明治32	歌舞伎座	1/12~	かたきうちごぢあんながは ら 敵討護持院ヶ原 柳営内評議・木上玄舟宅・若 狭屋三五郎内・本石町大番 屋・矢部別荘面会・大井村 教光院・内内陣捕物・神田 和泉橋通・下谷御成通暗殺 ・同御徒町木上宅・雑司谷 水茶屋・高田の森返討・本 庄茂平次宅・町奉行所白洲 ・護持院ヶ原敵討	《5》尾上菊 五郎													福地桜痴作。 辻番付・ 絵本役割 ・筋書
1900	明治33	横浜 喜楽座	1/1~	遠山桜天保日記 花川戸稽古所・隅田川三 囲堤・河原崎座配膳・河原 崎座楽屋・愛宕下遠山邸・ 成田山断食堂・山内護摩木 山・花川戸須崎内・山之宿 尾花屋・牛込自身番調・北 町奉行白洲・新潟駅行形亭	《2》市川左 団次	《3》市川米 蔵	市川莚女	市川升若	《2》市川左 団次	《5》市川 小団次	《1》市川 小米	《1》市川 莚蔵	《1》中村 成太郎	《1》市川 荒次郎	《2》市川 小半次	《2》市川 左団次		辻番付
1902	明治35	東京座	3/7~	とほやまざくらつぎゝのた ち ばな 遠山桜接橋 花川戸稽古所・隅田川三 囲堤・囃子部屋喧嘩・愛宕 下遠山邸・成田山断食堂・ 山内護摩木山・花川戸俠客 内・山の宿尾花屋・電庵自 身番調・北町奉行白洲	《1》市川猿 之助	《6》市村家 橘	市川銀之助	中村雀三郎	《1》市川猿 之助	《7》市川 八百蔵	《4》市川 染五郎	《12》中村 勘五郎	市川升六	市川助五郎	市川助五郎	《7》市川 八百蔵		辻番付・ 絵本役割
1903	明治36	寿座	1/1~	〔遠山桜天保日記〕	尾上菊四郎	岩井咲松	嵐栄次郎	市川照世	尾上菊四郎	片岡当三郎	坂東飛鶴	寛蔵	橋五郎	蝶兵衛		市川蝠次郎		『配役総 覧 第六 版・第七 版』

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	遠山金四郎	尾花屋小三郎・ 祐天小僧小吉	清元延若・ 若紫・おわか	おもと	生田角太夫・ 按摩電庵	佐島天学	須崎政五郎	蓑浦甚兵衛	若鷺の目吉	番頭清六	山番勝五郎	不動明王	備考	典拠
1907	明治40	演伎座	3/31~	遠山桜天保日記 花川戸稽古所・隅田川三囲 堤・河原崎座楽屋・愛宕下遠 山邸・成田山断食堂・山内護 摩木山・花川戸須の崎内・山 の宿尾花屋・電庵自身番調・ 北町奉行白洲・新潟駅行形亭	《2》市川九団 次	市川銀之助	《1》市川蕙若	市川鷺之助	《2》市川九団 次	《2》市川 団升	尾上幸蔵	羽市五郎	貞之助	市五郎	芝歌蔵	《2》市川 団升		辻番付
1907	明治40	柳盛座	5/31~	〔遠山桜天保日記〕	中村梅雀	市川升紅	家寿之助	昇若	坂東橘十郎	坂東勝之助	坂東鶴若	高遊	吉弥	文五郎	尾上重雀			『配役総 覧 第六 版・第七 版』
1911	明治44	明治座	11/21~	遠山桜天保日記 花川戸稽古所・隅田川三囲 堤・河原崎座楽屋・愛宕遠山 邸・成田山護摩木山・花川戸 須の崎内・山之宿尾花屋裏 手・自身番電庵調・北町奉行 白洲・新潟行形亭捕物	《2》市川左団 次	《1》中村又五郎	《1》市川蕙若	《3》坂東 秀調	《2》市川左団 次	《5》市川 小団次	嵐三右衛門	《2》市川 荒次郎	《6》市川 寿美蔵	《2》市川 左升	市十郎			辻番付・ 絵本役 割・筋書
1911	明治44	三崎座	12/31~	遠山桜天保日記 花川戸稽古所・向島三囲土手 堤・河原崎座楽屋・愛宕下遠 山邸・同奥座敷仏間・成田山 護摩木山・須の崎政五郎内・ 山の宿尾花屋裏口・牛込自身 番調・北町奉行所白洲・新潟 行形亭	松本錦糸	市川鯉喜之助	沢村紀久八	市川崎升	松本錦糸	市川染八	中村千升	岩井桑寿	市川左喜次	市川若八	中村仲七			絵本役割
1911	明治44	横浜 喜楽座	12/31~ 1/12	遠山桜天保日記 花川戸稽古所・隅田川三囲 堤・河原崎座楽屋・愛宕下遠 山邸・成田山護摩木山・花川 戸須の崎宅・山之宿尾花屋裏 手・自身番電庵調・北町奉行 白洲・新潟行形亭捕物	《2》市川左団 次	《1》中村又五郎	《1》市川蕙若	市十郎	《2》市川左団 次	《5》市川 小団次	《4》沢村 源之助	《2》市川 荒次郎	市川荒次郎	《2》市川 左升	沢村源十郎			辻番付
1912	明治45	京都 京都座	1/1~	遠山桜天保日記 江戸花川戸稽古所・同隅田川 三囲堤・同河原崎座楽家・同 愛宕下遠山邸・同奥座敷登 堂・下総国成田山断食堂・同 本堂奇夢・同山内護摩木山・ 江戸花川戸須の崎宅・同山の 宿尾花屋裏通・同牛込自身 番・同北町奉行白洲・新潟駅 行形亭・同屋根上角太夫召捕	《5》中村福之 助	嵐吉松郎	《2》市川荒太郎	片岡松三郎	《5》中村福之 助	《2》浅尾 関十郎	《4》市川 荒五郎	嵐佐十郎	《4》嵐和 三郎	中村扇太郎	片岡秀郎	《5》中村 福之助		『近代歌 舞伎年 表・京都 篇』
1913	大正2	深川座	1/31~	〔遠山政談〕	鶴蔵	松本高麗之助		中村歌蔵	鶴蔵	千鶴	市川鯉之助		片岡市勇					『配役総 覧 第六 版・第七 版』
1916	大正5	早稲田劇場	11/23~	〔遠山政談〕												未詳。		『配役総 覧 第六 版・第七 版』
1919	大正8	公園劇場	12/16~	〔遠山桜〕	高麗三郎	嵐和三郎	中村勝五郎	沢村百之助	高麗三郎	中村鶴十郎	片岡松十郎							『配役総 覧 第六 版・第七 版』

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	遠山金四郎	尾花屋小三郎・ 祐天小僧小吉	清元延若・ 若紫・おわか	おもと	生田角太夫・ 按摩電庵	佐島天学	須崎政五郎	蓑浦甚兵衛	若鷺の目吉	番頭清六	山番勝五郎	不動明王	備考	典拠
1920	大正9	明治座	4/2~	遠山桜天保日記 花川戸稽古所 其噂立仇浪・隅 田川三囲堤・劇中劇 傾城反魂 香 土佐将監住家・河原崎座楽 屋・愛宕下遠山邸・成田山断 食堂・同護摩木山・花川戸須 崎内・山の宿尾花屋・牛込自 身番調・北町奉行白洲・新潟 行形亭	《6》市川寿美 蔵	《6》市川寿美蔵	《2》市川松蔭	市川紅若	《2》市川猿之 助	《3》阪東 寿三郎	《2》市川 段四郎	《4》河原 崎長十郎	《2》市川 左升	《2》市川 荒次郎	市川米左衛 門	《5》市川 三升	尾花屋小僧辰太郎 (《2》市川団 子)、土佐将監 (《5》市川小団 次)、浮世又平 (《2》市川段四 郎)、狩野雅楽之 助(《2》市川猿之 助)、狩野修理之 介(市川莚升)、 又平女房おとく (《3》坂東秀 調)。	辻番付・ 筋書
1920	大正9	御国座	7/31~	天保日記 隅田川三囲堤・成田山護摩木 山・花川戸須崎内・尾花屋裏 手・牛込自身番・九段牛ヶ淵		沢村源十郎	中村勝五郎	市川団之丞	《5》関三十郎	中村竹三郎	《9》市川 団三郎		片岡左馬之 助	市川若猿	中村鶴若		佐島天学/祐天小 吉/按摩電庵	筋書
1920	大正9	神田劇場	10/1~	〔遠山桜天保日記〕	実川正朝	尾上菊右衛門	尾上梅次郎	沢村芳江	《6》市川団之 助	大谷友三郎	片岡柳蔵	沢村柏十郎	尾上楽太郎	沢村柏十郎	尾上扇三郎			『配役総 覧 第六 版・第七 版』
1921	大正10	市村座	4/6~	敵討護持院ヶ原 佐久間町若狭屋・石町大番屋 詮議・柳島矢部家別荘・御成 通闇討・本植玄斎宅・雑司ヶ 谷茶店・高田森中敵討・町奉 行所白洲・護持院ヶ原本望	《6》尾上菊五 郎												福地桜痴作。	辻番付
1921	大正10	横浜 横浜劇場	9/27~ 9/29	露尾花天保日記 江戸花川戸稽古所・隅田川三 囲堤・成田山断食堂・同護摩 木山・花川戸須崎内・山の宿 尾花屋・牛込自身番調		升八	桑孝	喜孝	安孝	波六	半孝		八孝	富孝	〈与作〉 吉孝	喜孝	桜川劇。	筋書
1926	大正15	浅草松竹座	1/1~	遠山政談噂白浪 隅田川三囲・成田山護摩木 山・花川戸須崎内・山の宿尾 花屋・牛込自身番・牛ヶ淵大 捕物〔北町奉行白洲・熊谷在 宮芝居〕	《2》市川猿之 助	《3》市村亀蔵	《3》坂東秀調	沢村源十郎	《2》市川猿之 助	《2》河原 崎権十郎	《4》沢村 源之助		《8》市川 八百蔵	《2》市川 荒次郎	《4》河原 崎長十郎		謙信(中村伝 鶴)、勝頼(市川 団次郎)、白須賀 六郎(市川笑 猿)、八重垣姫 (市川莚若)、濡 衣(山崎扇女)。	筋書
1927	昭和2	大国座	3/31~	遠山桜天保日記 隅田川三囲堤・山内護摩木 山・政五郎内・尾花屋堀外・ 牛込自身番調		尾上菊右衛門	沢村清之助	沢村清之助	中村竹三郎	中村幹尾	片岡市寿郎		《2》坂東 竹若	坂東鶴五郎	吉蔵		大国座創立10週年 記念興行。	筋書
1928	昭和3	本郷座	6/1~	遠山桜天保日記 河原崎座楽屋・隅田川三囲 堤・成田山断食堂・同護摩木 山・花川戸須崎内・山の宿尾 花屋・牛込自身番・北町奉行 所・雑司ヶ谷見世物小屋	《2》市川猿之 助	《6》市川寿美蔵	《2》市川松蔭	《2》松本 錦吾	《2》市川猿之 助	《3》市村 亀蔵	《4》沢村 源之助	《2》市川 左升	《3》中村 翫右衛門	《2》市川 荒次郎	《4》河原 崎長十郎	《2》市川 猿之助		筋書
1930	昭和5	歌舞伎座	1/2~ 1/26	天保演劇史 堺町中村勘三郎宅・遠山屋敷 門前・水野越前守屋敷・同表 書院・中村座焼跡	《2》市川左団 次												岡本綺堂作。	筋書

西暦	和暦	劇場	月/日	上演外題	遠山金四郎	尾花屋小三郎・ 祐天小僧小吉	清元延若・ 若紫・おわか	おもと	生田角太夫・ 按摩電庵	佐島天学	須崎政五郎	蓑浦甚兵衛	若鷺の目吉	番頭清六	山番勝五郎	不動明王	備考	典拠
1931	昭和6	名古屋 歌舞伎座	3/1～ 3/7	遠山桜天保日記 四幕六場	《4》河原崎長 十郎	《2》市川小太夫	坂東勝太郎	《2》松本 錦吾	《2》市川猿之 助	《8》市川 八百蔵	《2》市川 左升		市川段猿	《2》市川 荒次郎	沢村源十郎		猿之助十種の内 春秋座。	『近代歌 舞伎年 表・名古屋篇』
1931	昭和6	神戸 松竹劇場	4/15～ 4/21	遠山桜天保日記 隅田川三囲堤・成田山護摩木 山・花川戸須崎内・山の宿尾 花屋塀外・自身番・北町奉行 白洲	《4》河原崎長 十郎	《2》市川小太夫	坂東勝太郎	《2》松本 錦吾	《2》市川猿之 助	《8》市川 八百蔵	《2》市川 左升		市川段猿	《2》市川 荒次郎	沢村源十郎		猿之助十種の内 春秋座。	筋書
1932	昭和7	宮戸座	7/1～	遠山桜天保日記 隅田川三囲堤・成田山護摩木 山・花川戸須崎内・山の宿尾 花屋塀外・牛込自身番・北町 奉行白洲	松本高麗之助	市川栄升	小佐川鶴之丞	市川新之丞	《6》市川団之 助	市川莚三郎	松本小治郎		沢村源二郎 片岡卯左衛 門	市川三蔵				筋書
1958	昭和33	新宿松竹座	6/4～ 6/28	遠山桜天保日記 河原崎座舞台・隅田川三囲 堤・成田山断食堂・同護摩木 山・花川戸須崎内・山の宿尾 花屋・牛込自身番・北町奉行 白洲	《2》市川猿之 助	《2》中村又五郎	《5》片岡我童	《2》中村 芝鶴	《2》市川猿之 助	《3》市川 段四郎	《9》市川 八百蔵	《5》沢村 田之助	《1》市川 猿三郎	《2》中村 吉十郎	市川左文次	《2》市川 猿之助		筋書
1980	昭和55	歌舞伎座	12/1～ 12/26	遠山桜江戸白波 河原崎座幕そと・隅田川三囲 堤・成田山護摩木山・花川戸 須之崎政五郎内・尾花家裏 手・牛込自身番・北町奉行所 白洲	《4》中村梅之 助	片岡孝夫	水谷良重	《5》河原 崎国太郎	《4》中村梅之 助	嵐圭史	市川岩五郎	《4》片岡 松之助	市川祥之助	瀬川新蔵	村田吉次郎		松竹・前進座提 携・前進座創立50 周年記念、宇野信 夫改訂並演出。	筋書
2008	平成20	国立劇場	12/3～ 12/26	遠山桜天保日記 河原崎座楽屋・隅田川三囲 堤・成田山護摩木山・花川戸 須之崎五郎内・山の宿尾花 屋・大川橋六地藏河岸・新潟 行形亭広間・同庭先・北町奉 行所白洲	《7》尾上菊五 郎	《5》尾上菊之助	《5》中村時蔵	《5》中村 時蔵	《7》尾上菊五 郎	《4》尾上 松緑	《4》市川 左団次	《6》沢村 田之助	《2》尾上 松太郎	《4》片岡 亀蔵	《4》尾上 菊十郎	《9》市川 団蔵	通し狂言 ※国立劇場第二六 一回歌舞伎公演。 《7》尾上菊五郎監 修、国立劇場文芸 課補綴、《7》市山 七十世振付、《2》 杵屋巳吉補曲。	筋書